

環境保全活動

環境経営指標

日東電工グループでは、独自の環境効率指標とその目標値を定め、温暖化防止を中心とした環境負荷削減に取り組んでいます。日東電工グループが定めた環境効率指標「環境負荷付加価値生産性」は、事業活動によって創出した付加価値を、付加価値を生み出すために要した環境負荷(CO<sub>2</sub>換算量)で割った値として定義され、2005年度を基準として2015年度までに効率を2倍にすることを目標値に設定しています。2007年度は効率の1.2倍アップを中間目標とし、様々な環境負荷削減活動を通して目標を達成することができました。また、効率アップと共に、環境負荷の絶対量の削減にも取り組んでいます。

■環境経営指標

	2005年度	2006年度	2007年度
経営指数	0.353	0.332	0.429
(指数)	100	94	121

環境経営指標

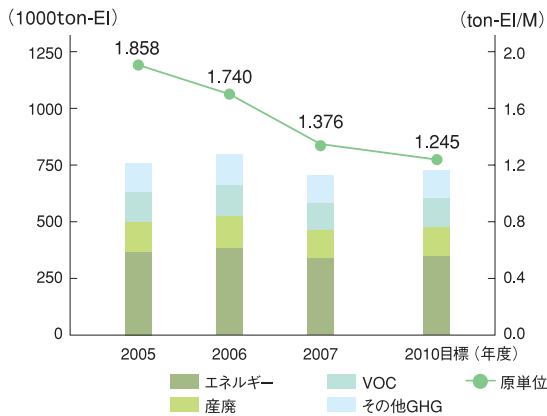
事業活動によって創出した付加価値と、それとともない発生した環境負荷(下記参照)との関係。

$$\text{環境経営指標} = \frac{\text{付加価値}}{\text{環境負荷(CO}_2\text{換算量)}}$$

付加価値とは…

$$\text{付加価値} = \text{売上高} - (\text{材料コスト} + \text{エネルギーコスト})$$

■環境負荷・原単位推移(連結)



環境汚染を食い止めたいー韓国海岸の重油除去活動に参加ー



2007年12月5日、韓国の西の海上で油槽船と海上クレーンの衝突事故が発生し、西海岸では深刻な重油汚染が広がりました。韓国日東オプティカル(Koreno)のボランティアチーム「KOSMOS愛」のメンバーが、海岸周辺住民やボランティアの人々に加勢し、2度の清掃作業を行いました。初回は持参した道具でバドゥリ海岸の重油除去を手伝い、2度目はベンリボ海水浴場の海上に浮かぶ油を吸着布で取りました。



「KOSMOS愛」のKOSMOSとはKoreno One Step More Onward Systemの頭文字を取ったもので、元々は韓国日東オプティカル改善活動のスローガンでした。これに「愛」をつけ、慈善活動チームの名称としました。今後も「KOSMOS愛」は韓国の環境保全に協力を惜しみません。